

東静岡駅南口県有地 「文化力の拠点」基本計画(案) 概要版

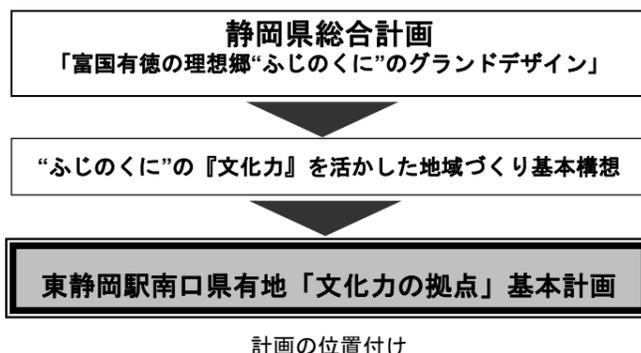
はじめに

静岡県では、本県を代表する「学術、文化・芸術、スポーツ」施設が集積する東静岡から名勝日本平、さらには三保松原に広がる地域の「場の力」の最大化を図るとともに、その玄関口となる東静岡地区に「文化力の拠点」を形成するため、平成27年3月に「“ふじのくに”の『文化力』を活かした地域づくり基本構想」（東静岡周辺地区の整備に関する有識者会議・静岡県、以下、「基本構想」という。）を策定しました。

この基本構想を踏まえて、東静岡駅南口県有地に整備を見込む「文化力の拠点」の具体化を図り、事業化へ向けた方向性を示すため、「東静岡駅南口県有地への『文化力の拠点』基本計画策定専門家会議(会長：伊藤滋東京大学名誉教授)」の御意見を伺いながら、「東静岡駅南口県有地『文化力の拠点』基本計画」をまとめました。

計画の位置付け

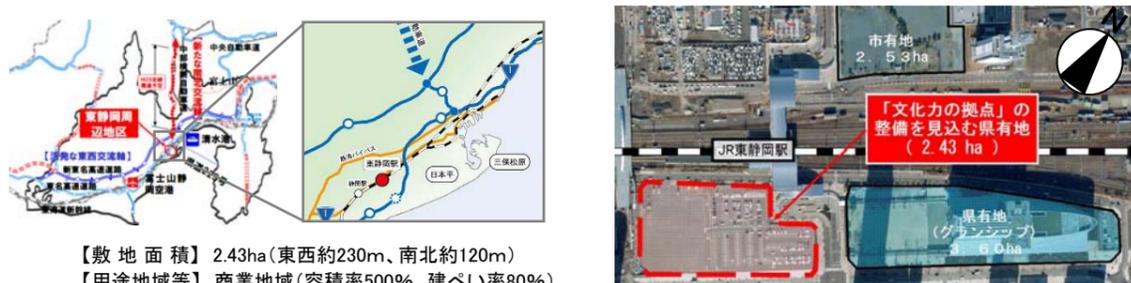
静岡県総合計画「富国有徳の理想郷“ふじのくに”のグランドデザイン（後期アクションプラン）」において、「『文化力の拠点』の形成」を戦略の柱「多様な交流の拡大と深化」を構成する施策の方向の1つとして位置付けています。



計画地の概要

東静岡から名勝日本平、三保松原に広がる地域は、本県を代表する「学術、文化・芸術、スポーツ」施設の集積エリアです。今後、中部横断自動車道の開通により、東静岡駅周辺地区は、ヒト・モノ・情報の集積する交流拠点となることが期待されます。

本計画地は、東静岡駅南口に隣接する面積約2.43haの県有地です。



【敷地面積】 2.43ha(東西約230m、南北約120m)
【用途地域等】 商業地域(容積率500%、建ぺい率80%)

計画地の概要

文化力の拠点 整備方針

資料5

「“ふじのくに”の『文化力』を活かした地域づくり基本構想」

【整備方針1】

「“ふじのくに”の『文化力』を活かした地域づくり基本構想」のコンセプトの着実な実現に向けた機能の構築

【整備方針2】

メインユーザーへの意識と、機能のつながりや組み合わせに配慮
(イメージ図は下図)

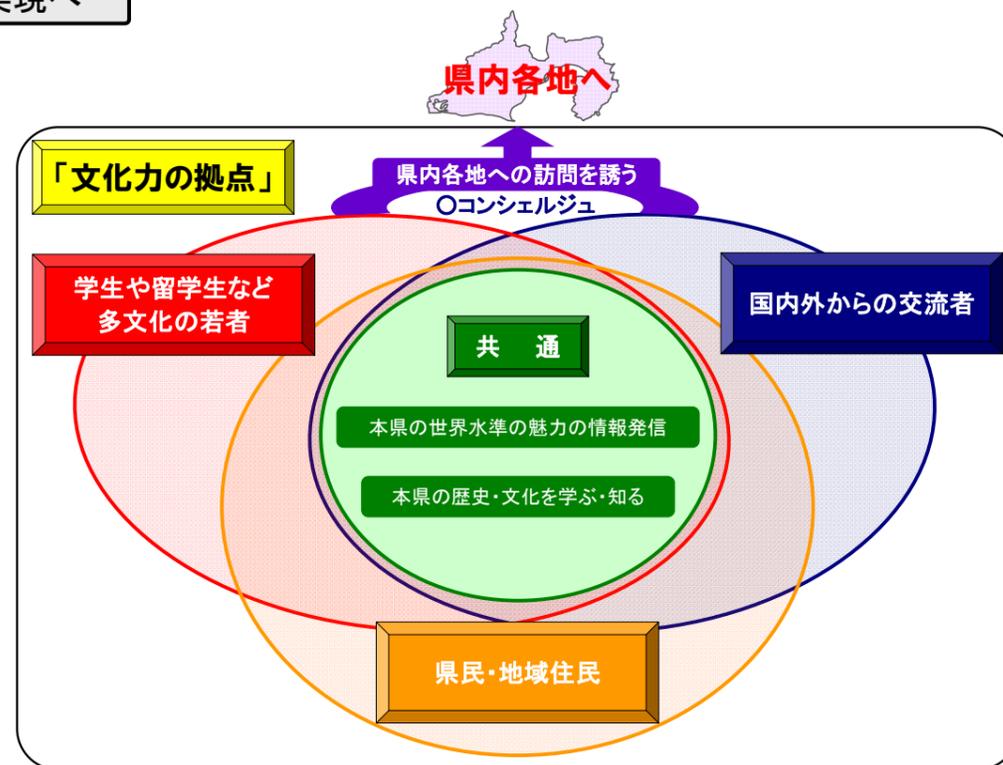
【整備方針3】

「文化とスポーツの殿堂」にふさわしいまちづくりに配慮した施設の魅力を一層向上させる機能配置や施設整備

【整備方針4】

施設整備後を見据えた取組

実現へ



施設のメインユーザーと導入機能イメージ

文化力の拠点 導入機能

機能一覧

コンセプト	機能	メインユーザー	規模感※ (㎡程度)	民間提案※	備考
創造・発信	多目的情報発信スペース (コンシェルジュ機能含む)	交流客	1,000		
	食の都、茶の都 (食の都仕事人等レストランや緑茶カフェ等)	交流客 学生、留学生	2,500	民間	
	花の都 (施設内外を本県の多彩な花で装飾など)	交流客 学生、留学生	—		
学ぶ・人づくり	大学コンソーシアムの拠点 (ICTスタジオや講義・演習室等)	学生、留学生	1,000		
	共同研究拠点 (様々な研究者の共同研究スペース)	研究者、学生 留学生	300		
	図書室機能	学生、留学生 世代を超えた人々	5,000 程度		
	古代東海道を活用した 歴史資産展示スペース	交流客	400*		覆屋
出会い・交わる	迎賓機能(特別応接室、会議室) (海外からの賓客等)	交流客	300		
	宿泊機能	交流客	5,000	民間	共用含む
	国際学生寮 (留学生、日本人学生用)	学生、留学生	6,000		
	外資系企業向けレンタルオフィス ビジネスインターン向け宿泊施設	海外ビジネス インターン	200		
その他	業務・研究オフィス、アトリエ、スタジオ 若者の出会い等に資する多目的ホール		—	民間	
	共用施設 (共用施設、サービス施設、管理施設、設備室)	—	10,870	一部 民間	民間部 1,670㎡
	駐車場(大型車平面駐車場約3,000㎡は別途) (駐車場台数: 台)	—	16,375 (675)		
建物部 計(*を除く)			48,545		
駐車場除き面積			32,170		
駐車場及び民間除き面積			23,000		

※ 専門家会議に提示し、議論を行った数量

個別機能

「創造・発信」

“ふじのくに”の「文化力」を発信する機能 ～多目的情報発信スペース・コンシェルジュの配置～

- 世界遺産富士山をはじめ、葦山反射炉や南アルプスエコパーク、伊豆半島ジオパークなど、本県の世界水準の魅力を国内外に発信します。
- 本県の多彩で豊富な食・茶・花の都の魅力や文化を発信し、産地や拠点施設に誘います。
- 県立美術館やふじのくに地球環境史ミュージアム等のサテライト展示により、県内の文化施設の魅力を紹介し、各施設の訪問を促します。
- 本県の民俗芸能や建造物等の文化財の魅力、遺跡や遺構等の歴史的な価値を、映像や実物の展示により伝えていきます。
- 本県が誇る伝統工芸や家具・ホビー産業などの産業に関する歴史・文化を紹介するとともに、作品の展示やふれあう機会を提供します。
- 本県の文化や産業、観光に関する情報提供を通じて、世界水準の魅力の地への誘うなど、来訪者の多様なニーズにきめ細かな対応ができるコンシェルジュ機能を導入します。

《イメージ》



「食・茶・花の都」の創造・発信機能

- 豊富な食材を活かした食を提供するレストランや、厳選された県内農林水産物の販売施設などを設置し、「食材の王国」である本県の多彩な「食」の魅力を発信します。
- 「緑茶カフェ」の設置や留学生等のお茶の淹れ方の体験等により、お茶を楽しみ、歴史や文化に触れることができる機会を提供し、「茶の都しずおか」から茶の魅力を国内外に発信します。
- 施設の内外を本県産の多彩な花々で飾ることにより、花と緑があふれる「ふじのくに『花の都』しずおか」を発信します。

《イメージ》



「学ぶ・人づくり」

大学コンソーシアムの拠点機能

- 本県の高等教育の一層の向上と地域社会の発展へ寄与することを目的とする「大学コンソーシアム」の活動拠点としての機能を果たします。
- 県内高等教育機関の教育連携を進めるため、ICTを活用した共同授業の開催など、教育研究の場を提供します。
- 「富士山学」の公開講座の開催など、本県の自然現象・地域環境・生活の特徴・歴史などを各分野から掘り下げ、分析した内容の講義を行い、本県ならではの学びを提供します。
- 地域貢献推進拠点の設置等により、地域課題の解決策を講じる機能を果たします。
- 異なる大学の学生間や学生と教員など幅広い交流を促進するとともに、学生活動を支援する機能を果たします。



大学コンソーシアム講義室

“ふじのくに”の研究拠点機能～共同研究拠点～

- ふじのくに地球環境史ミュージアム、富士山世界遺産センター、グローバル地域センターの研究者が、集い、情報交換・意見交換する場を提供することにより、施設相互間や大学等との連携を促進します。
- 地域学（富士山学等）の拠点として、共同して「学」を究めるとともに、留学生や大学院生等への教育の拠点としての機能を果たします。



共同研究拠点

大学生・留学生等の学びの支援機能／県民の生涯学習支援・読書推進機能 ～図書室～

- 本県の歴史や文化等に関する書籍を収蔵し、世代を超えた人々が、静岡について学ぶことができ、「ふじのくにのことなら何でも分かる」場を提供します。
- 辞典類等を収蔵し、学生や留学生の学習を支援します。
- 芸術や文学、音楽、外国語資料など、文化について幅広く学べる場を提供します。
- 子どもやその保護者等が、世代を超えて集い、児童書等の閲覧などを通じて、本県の歴史・文化に親しみ学ぶことが出来る場を提供します。
- 「文化力の拠点」と県内市町立図書館とを繋ぐハブ機能を導入し、県内全地域の図書、資料をワンストップで入手できるフロントデスクの役割を果たします。



ゆとりある閲覧室内のイメージ



講座や研究会のイメージ
(提供：福岡市スタートアップカフェ)

歴史資産を展示する機能

- 地域の貴重な資産である古代東海道の遺構を活用して、その歴史的価値を学んだり、後の東海道の変遷や本県と東海道との関わり等を学んだりする場を提供します。
- 道路遺構や出土品の展示を工夫するとともに、映像等を活用した視覚的な演出により、効果的に東海道を学べる施設となるよう配慮します。
- 周辺は、古代東海道を活かした水、緑が溢れるオープンスペースとしての活用を図ります。



古代東海道遺構展示施設イメージ

「出会い・交わる」

迎賓機能

- 外国からの賓客等を迎え、世界の宝「富士山」を眺めながら会談や会食ができる場を提供します。
- 賓客等に対して、本県の多彩で高品質な農林水産物をふんだんに取り入れた「食」や本県産銘柄茶の提供など、他では真似できない本県ならではのおもてなしを提供します。



特別応接室イメージ

宿泊機能

- グランシップと連携して、イベント・コンベンション等の開催時における来訪者の宿泊の場等を確保します。
- 国内外からの交流者が、本県の魅力を巡る際の拠点となる宿泊・滞在の場を提供します。
- 民設民営による機能導入を図り、国際的に認知されるようなテーマ性を持った提案を求めます。



宿泊施設

留学生や日本人学生の支援機能

- 将来の本県を支え、世界に貢献するグローバル人材育成を育成するため、本県の高等教育機関で学ぶ留学生や日本人学生等に対して、入学初年度における滞在の場を提供します。
- 留学生と日本人学生が日常生活を共にすることにより、学生間の交流を深めさせるとともに、異文化理解や外国語能力の習得、国際感覚の研鑽などを促します。
- 特に留学生に対して、本県の歴史や文化を体感できるプログラムなどを提供し、本県の魅力を発信します。
- 本県企業へのビジネスインターンによる短期利用等も可能とするなど、より多彩な若者の交流拡大に配慮します。



共用スペース(イメージ)



各部屋

海外ビジネスパーソンの招致や国際交流を促進する機能

- 産業のグローバル化を支援するため、外資系企業が本県への進出を検討する期間等に使用できる仮オフィススペースや、本県企業への海外ビジネスインターン向けの宿泊サービスを提供します。



レンタルオフィス
(提供：Compass Offices Japan株)

その他の機能

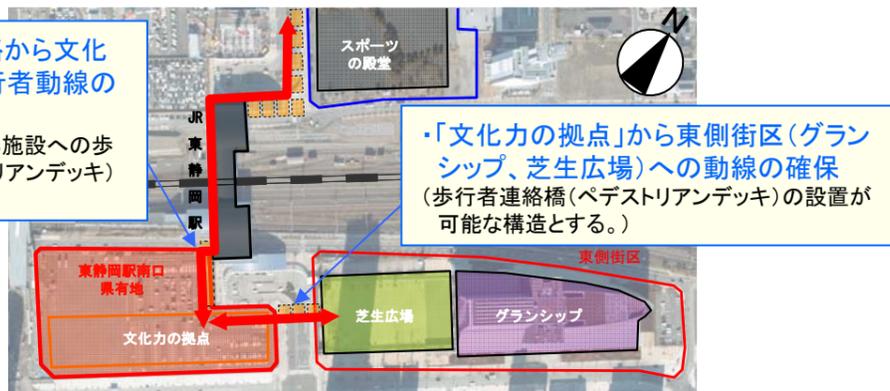
- 駐車場（既存のグランシップ駐車場分と新たに必要となる駐車分を確保）
- 共用施設
- ※その他、以下の施設・設備を、民間による提案を期待する。
 - ・ 本県ならではの文化・学びに根差した民間の業務・研究オフィス
 - ・ 県内のクリエイターやデザイナーの活動の場となるアトリエやスタジオ
 - ・ 県民の生涯学習や、若者の出会い等に資する多目的ホール 等

「文化力の拠点」整備にあたっての配慮事項

①動線計画

- 東静岡駅や静岡市が駅北口で整備を進める「スポーツの殿堂」、グランシップ及び芝生広場等一連の外部空間の周辺施設とのつながりを意識した動線を確保します。

・東静岡駅自由通路から文化力の拠点への歩行者動線の確保
(東静岡駅自由通路から施設への歩行者連絡橋(ペDESTリアンデッキ)の設置等)



動線計画イメージ

②外部空間計画

- 外部空間について、地域や静岡市の取組と協調の上、「文化とスポーツの殿堂」にふさわしい統一感あるデザインで一体性を確保するとともに、新都市にふさわしい光、水、花、緑溢れるオープンスペースの確保に努めます。

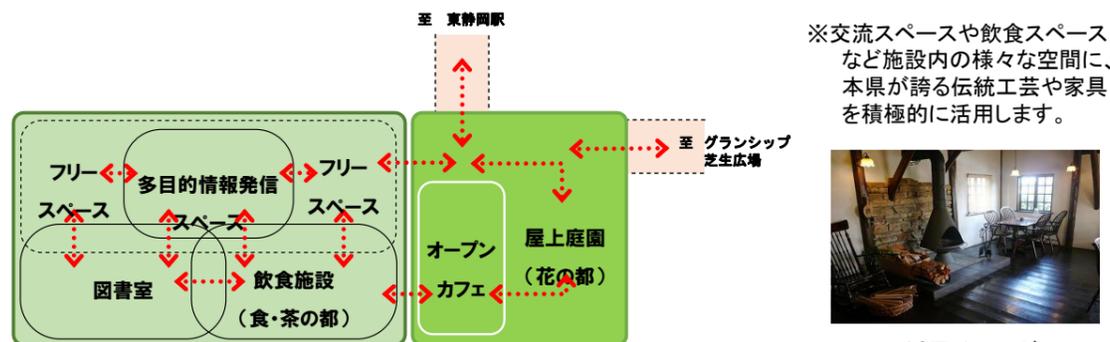
- 本県の多彩な花や樹木等により「ふじのくに『花の都』しずおか」にふさわしい敷地内での緑化に努め、まちの景観にうおいを与えます。



外部空間、緑化等イメージ

③内部空間計画

- 計画した動線を意識して、個別機能を配置します。
- 個々の機能同士のつながりを意識した空間構成とします。



個別機能間の内部空間のつながりのイメージ



活用イメージ

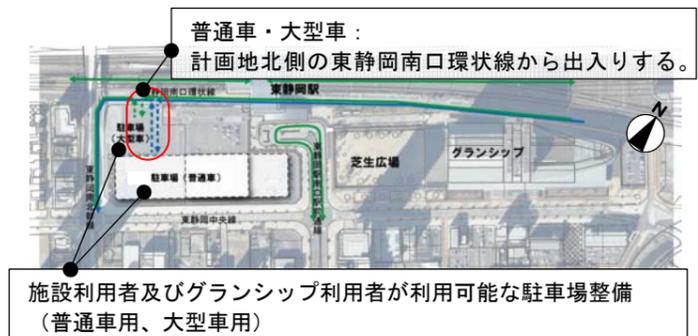
④眺望・景観

- 県有地から北東方向に見える、“ふじのくに”の「文化力」の源である富士山の眺望に配慮します。
- 「文化とスポーツの殿堂」として、東静岡駅周辺地区内の美しくうおいある景観に配慮したまちづくりに寄与する設計とします。

上記内容は、東静岡地区のより良い景観を形成するため設置した「東静岡地区における『都市景観検討技術会議』」が、平成28年8月に取りまとめた「東静岡地区景観形成基本方針(景観ガイドライン)案」の議論の内容を踏まえたものとしています。

⑤交通・アクセス

- 適切な車両動線を確保しながら、新たな交通需要を見据えた施設整備を行います。



交通計画イメージ

⑥その他

- 施設整備にあたり、ユニバーサルデザインや県産材の活用等に配慮します。

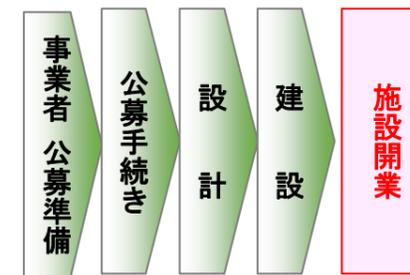
事業化に向けて

(1)事業手法の整理

- 本事業の実施にあたっては、民間の資金・能力を積極的に活用した事業とするため、今後、民間事業者の声を聞きながら、敷地の利用形態も含めた様々なPPP事業の可能性を検討した上で、事業手法を整理し、事業スキームを構築していきます。

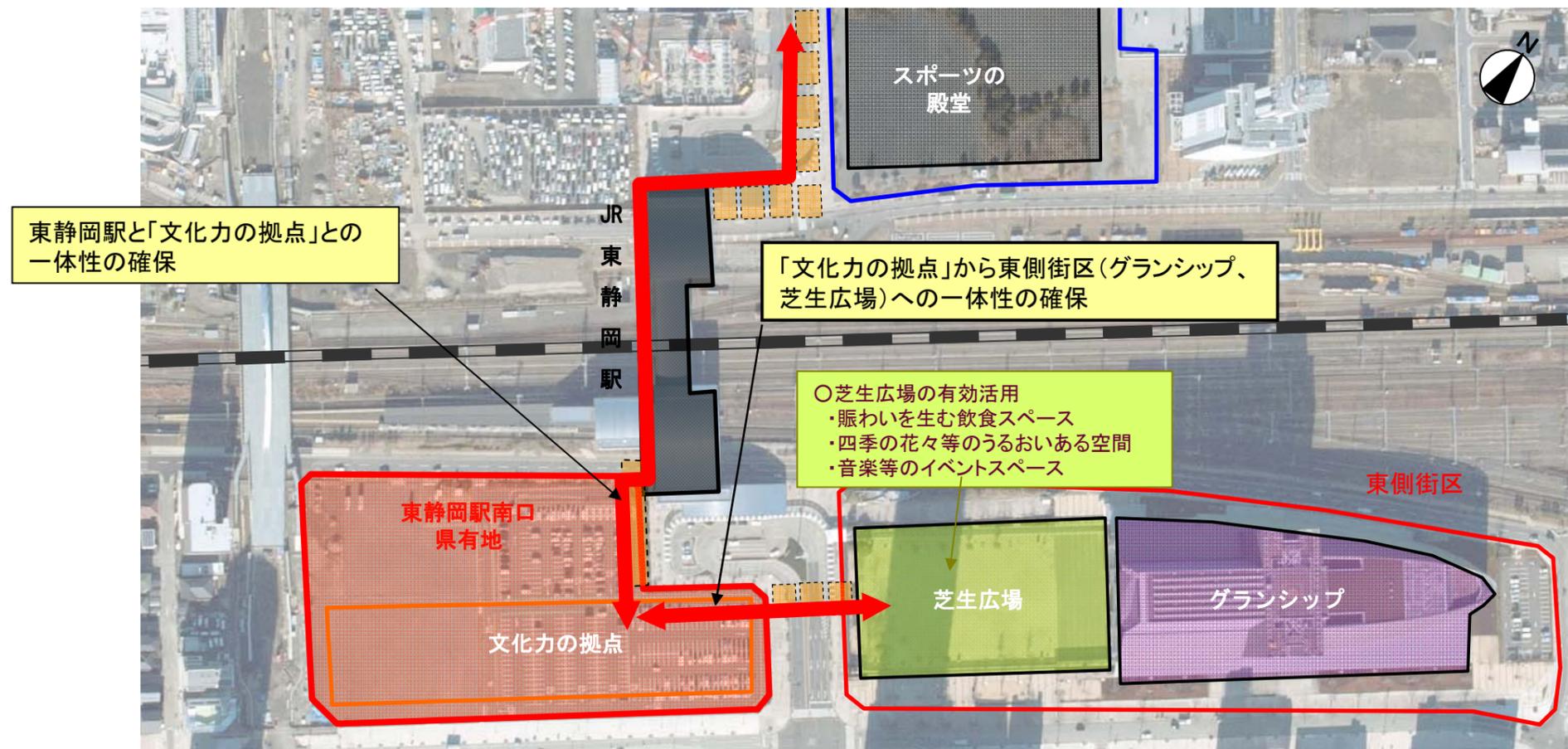
(2)事業の流れ

- 今後の事業の流れは、右のとおりです。

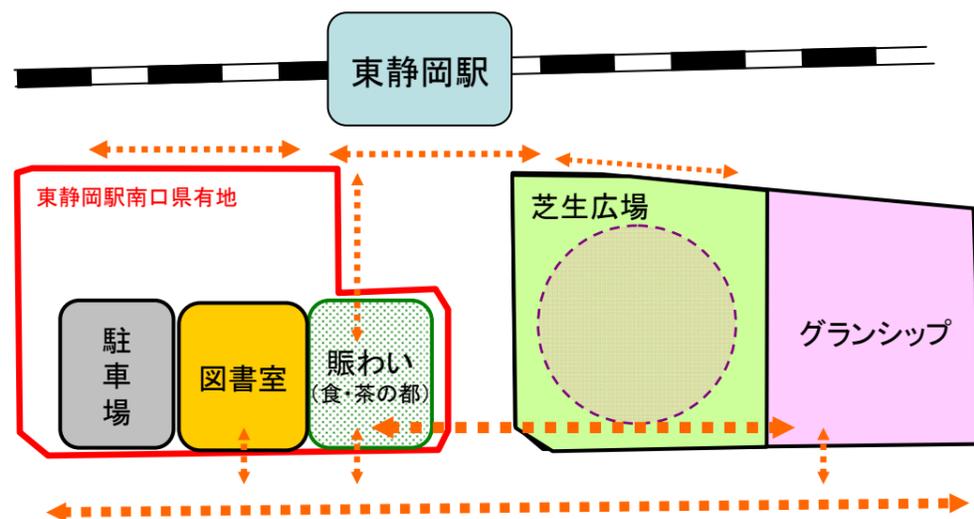


今後の事業の流れ

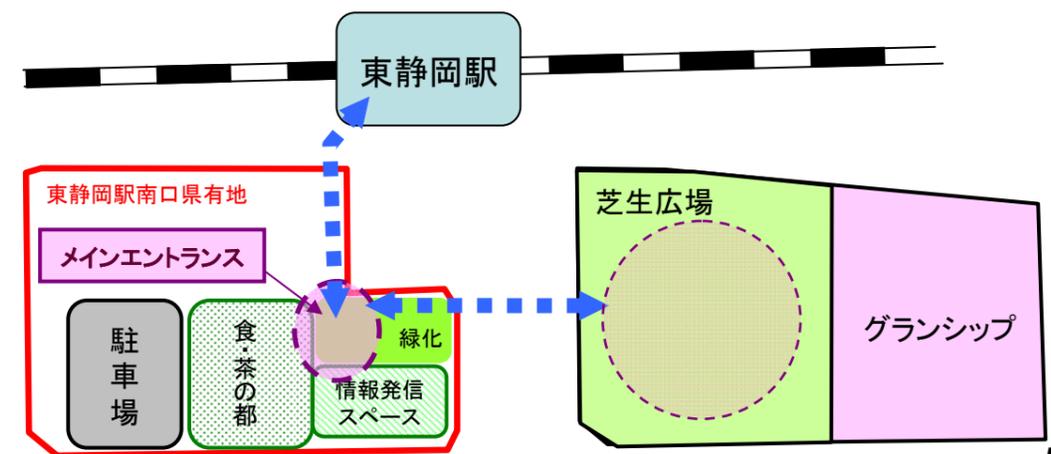
「文化力の拠点」と周辺施設との一体性 イメージ



《地上レベル》



《3Fレベル》

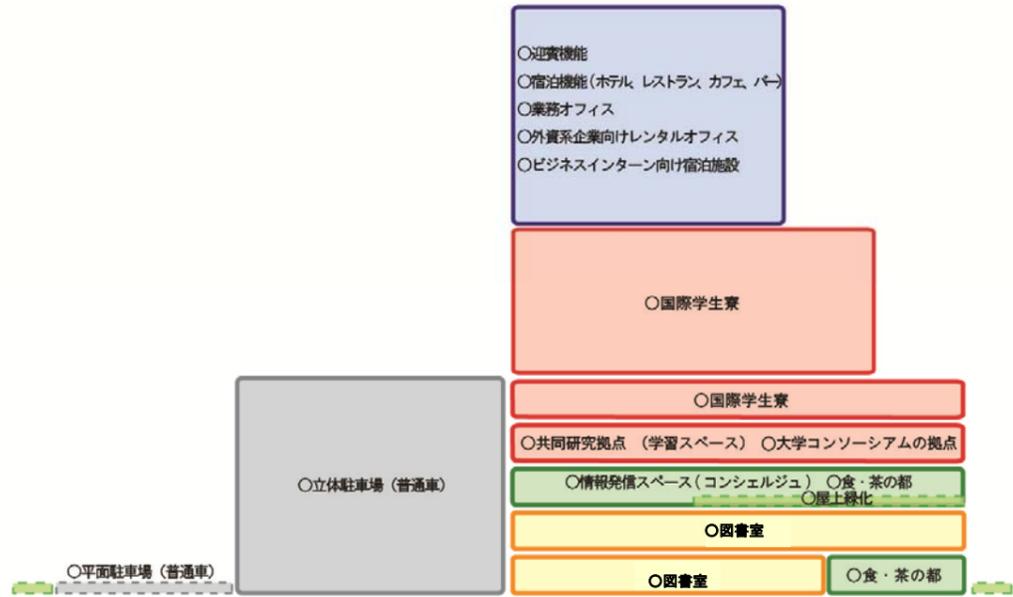


(参考)施設整備イメージ

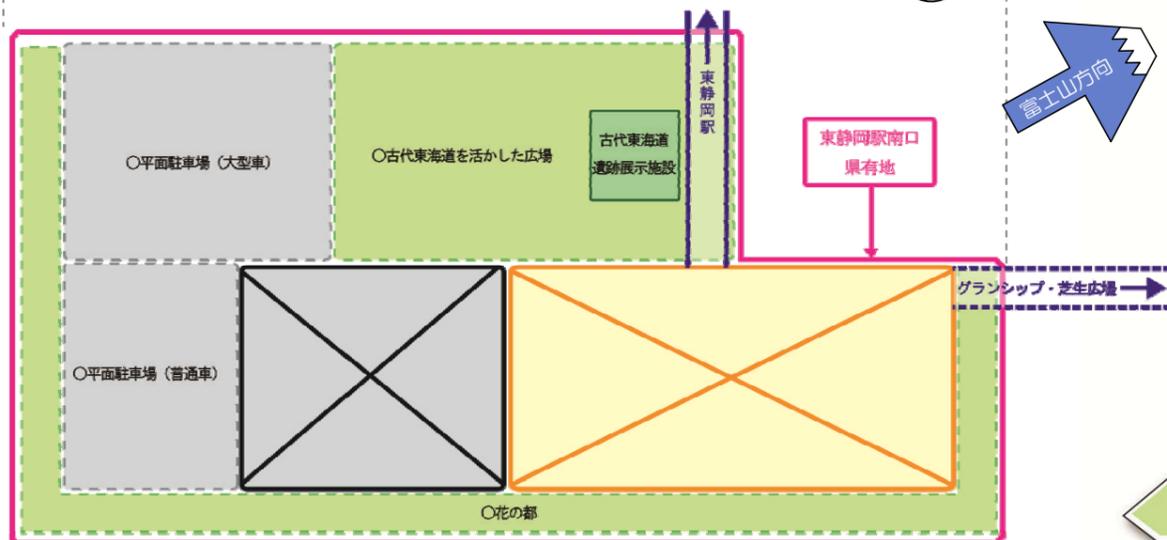
この図は、導入機能や配慮事項等を踏まえた施設配置のイメージであり、諸室の具体的な配置を示すものではありません。

【立面図】

駐車場棟 ← → メイン棟



【平面図】



【イメージ図】

